



新栄だより vol.20



新しい春のスタートです
学校法人青池学園富山校様竣工



旧総曲輪小学校跡地活用事業で、総曲輪レガートスクエア様が4月1日にグランドオープンされました。現在福井県を拠点とされている青池学園様が富山県に進出されることとなり、当社はその電気設備工事を担当させて頂きました。照明器具は、グレア（眩しさ）の少ないものを使用して眩しくないように配慮し更に昼光センサー（太陽の光）で感知して足りない分を自動制御することで照明エネルギーの削減がはかられています。ホールにはモニターで、調理実習室や調理階段教室の授業風景を映像で放映されています。また、調理階段教室では師範が行う調理の手本をカメラで撮り、各テレビモニターに映像として流し、細かな手さばきも学べるように授業の見える化が進んでいます。本年度の一期生に続き、二期生・三期生と学生が集まり、コンパクトシティの中核として一般市民の集いの場になることが期待されます。今回このような工事を担当させて頂きありがとうございました。私自身今回の施工では大変勉強させて頂きました。感謝致します。

（工事部・細川）



総曲輪レガートスクエア様のご竣工おめでとうございます。

総曲輪レガートスクエア様は、富山市中心部に位置する旧総曲輪小学校の跡地を活用した複合施設です。

この複合施設は富山市様と民間が連携（PPP）して地域開発する新しい取り組みとしてスタートして、富山市様のコンパクトシティ政策の一環として中心市街地の活性化と「健康」をテーマに生活価値向上を目的とした施設が集まってオープンしました。当社は本事業の代表企業の大和リース様様の総合管理により建築工事を担当されました技建工業様様のもとで電気設備工事を担当させて頂きました。

青池学園様は医食同源をモットーに46年間の歴史と実績を有する専門学校名門校です。青池学園様は富山調理製菓専門学校と富山リハビリテーション医療福祉大学校を開校され、本年4月1日に入学式が行われました。青池学園様は本年をスタートに優秀な学生の輩出をされ地域に貢献されるものと期待されます。今後の青池学園様の益々のご発展を祈念しています。

（営業企画部・小林）



▲レストランAoiike（一般の方も利用可）



▲調理階段教室



▲調理実習室



▲調理実習室

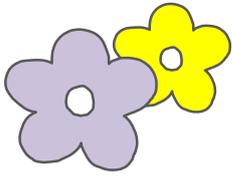


▲機能訓練実習室

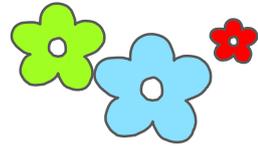


▲教室





新しい仲間が増えました



3月21日、当社大会議室にて入社式を行いました。
工事部工事課配属の佐藤裕也君です。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。



▲辞令交付の様子

先輩社員から歓迎の言葉

佐藤君入社おめでとうございます。
佐藤君が入社するのを社員一同心待ちにしておりました。
当社の社是は「愛」です。
人に尽くす、人を思いやるという考え方から発展してきました。
佐藤君も最初は仕事を覚えることで大変だと思いますが、お客様や元請けの監督、一緒に仕事をしている仲間に対して「どうしたら人に喜んでもらえるだろうか」「どうしたら相手が使いたいだろうか」ということを考えて仕事に励んで頂きたいと思います。
学校と会社の違いというのは、自分の行動に責任が伴う点であると思います。
仕事をしていく中で、つらい場面もあると思います。
そのような時は1人で悩まず、社員一同佐藤君をサポートしますので気軽に相談して頂けたらと思います。お互いがんばりましょう！

(工事部施工管理課・津幡)

工事部工事課のメンバーです



▲左から小柴、堀、新人佐藤、久保田



工事部工事課のメンバーからのメッセージです



▲左から小柴、堀、新人佐藤、久保田

入社して2週間ほど経ちます。現場では、道具など使い方は一緒ですが少し形が違って用途が変わるものがあるなど、わからずに困って不安になることばかりです。しかし先輩方に丁寧に教えて頂き少しずつですが覚えることができ、がんばろうという気持ちになります。
1日でも早く仕事を覚えて役にたてるようがんばります。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

(工事部工事課・佐藤)

早く一人前になるために先輩上司から多くの経験と知識を吸収し、失敗を恐れずにチャレンジ精神で頑張ってください。
失敗の中に成長があります。経験を積まないと成長はできません。工事課全員でフォロー・応援しますので、わからない事はどんどん聞いてください！期待しています。

(工事部工事課・堀)



▲担当者と打合せ中

現場の環境に早く慣れて、色々な事を1つずつ自分のものにしていって下さい。
時間との闘いもありますが、確実な施工品質が求められます。最後まで自分がおこなった工事は残りますし、やりがいもあります。
一緒にがんばりましょう！

(工事部工事課・小柴)

工事課に待望の新入社員です。
佐藤君には、1日も早く会社と現場に慣れてもらい、工事課の戦力になってもらいたいです。
電気工事は、色々覚えなければいけない事が多いですが、1日1個以上覚えていく、わからない事や疑問点は必ず聞いて解決させてください。
施工要領は聞くのも良いですが、先輩の要領をよく見て早く自分のものにしていくのが大事だと思います。

(工事部工事課・久保田)



本年度スローガン 「規律から自律へ”守・破・離”」

当社では、全社員一人ひとりの方向性を定めるため毎年スローガンを作成して気持ちを一つにしています。
(スローガンは各自のデスクに貼っています)。

守破離の原則 (安) (深) (型) (守) (破) (離) (双)



守…決めた事を守る。教えられた型を守る。
ルールを守る。

破…目的の中で本当に必要なものが理解できたならば
自分の個性で創造する。
型を研究し、より良い型を自ら作り出す。

離…相手の役に立つプロセスを掴み、お客様の喜びを
自分のものと捉え、独自の個性を生かす。
型を破り独自のものを作り出す。

▲呉羽山の桜

本年度のスローガンは、社員一人ひとりの資質向上を目指し、自ら考え、責任ある行動を行うため
「規律から自律へ”守・破・離”」と致しました。
全てのお客様の信頼を得るため、社員一同継続的改善と熱意をもって対応して参ります。
ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



富山の春 桜満開です



▲呉羽山の桜 富山市街と立山連峰を望む



▲呉羽山の桜と佐伯有頼



▲「日本のさくら名所100選」にも選ばれた松川沿いの桜



▲富山市海岸通り周辺に咲く河津桜
(撮影・小林・上沢・小柴・大山)



富山城グリーンライトアップ



▲緑内障予防ライトアップ事業
(主催 富山大学様)

このたび、富山大学様より当社へご依頼をいただき3/17~3/18にかけて、富山城グリーンライトアップのお手伝いをさせていただきました。今回のイベントは3/12~3/18の期間で行われた世界緑内障週間の一環として、日本各地でランドマークをグリーンにライトアップする事業の一環として開催されました。

緑内障は40歳以上の20人に一人が罹っている頻度の高い病気です。自覚症状がきわめて少なく、自分で気付いた時には症状もかなり進行していたというケースが多くみられ、日本人の成人の失明原因の第1位となっています。緑内障で失明する方を一人でも多く救いたいという目的で、各地でランドマークをグリーンに染め、啓発活動が行われました。期間中は天候にも恵まれ、普段とは違う色をした富山城を写真に収めていく人も多くみられました。

私事ですが、来年で40歳を迎える年になりますのでこれを機に、眼科で検診を受けてみようと思います。ご協力いただいた皆様へ感謝し、富山城グリーンライトアップのご紹介とさせていただきます。

(営業企画部・清水)



「私たちは忘れない。」 “未来につなげるプロジェクト” 人間を救うのは、人間だ。



▲日本赤十字社様専用パッチ

当社では、日本赤十字社様が取り組んでおられる「私たちは忘れない。」プロジェクトに賛同して、社員が専用パッチを胸に、毎日の業務に取り組みました。東日本大震災から6年が経ちました。大規模災害での経験力や想いを風化させないためのプロジェクトです。
(3/1~3/31)

私たちに何が出来るのか?いろいろな思いはありますが、人として生きる喜びを持つには、人間の持つ強いエネルギー、愛がなくては何も育まないと感じています。当社の社是は“愛”。私たちは愛を基本に人のお役に立つ、信頼される元気企業を目指します。

(工事部・上沢)

総務課が大専に育てている花です



▲ノースポール



▲シバザクラ



▲ツルニチニチソウ



▲ガステリア属 墨鋒 (アロエ科・ユリ科)



社長よりご挨拶

桜花の候、平素は格別のご愛顧を賜り心よりお礼申し上げます。

お陰様で「新栄だより」も本号で20号の発刊となりました。

この10年をかけて取り組んできた事、「お客様第一」「人の役に立つ」「人に尽くす」皆で行動し、実践してきました。ようやく社員一人ひとりの資質が上がってきたように感じます。

今年度目標はそれが継続できるように「規律から自律へ」「守・破・離」と致しました。

目標を持つ事、目的、方針、手段、自分の判断で行う事、そして規律から自律へ。1年・2年では出来ないかと思ひます。3年~5年位は掛かるかと思ひます。

社員の意識を変えて継続的に取り組むことが出来れば、自ら生きがいを見出し、お役に立てる強い組織力が発揮できると思ひます。今後とも各位のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

(代表取締役社長・清田)



発行元

株式会社新栄電設

〒930-0953 富山県富山市秋吉37-2 TEL: 076-491-5113 FAX: 076-491-5118

(編集・校正: 上沢・大山・片山・清水・小林・細川・酒井・堀・久保田・小柴・生地・津幡・佐藤)

2017年4月17日発行